

平成 27 年 7 月 22 日

三沢市議会

議長 小比類巻 雅彦 殿

三沢市議会

議員 堀 光雄

議員 太田 博之

議員 瀬崎 雅弘

議員 加澤 明

議員 野坂 篤司

## 旅行の復命について

先に旅行した結果について、下記のとおり復命いたします。

### 記

#### 1 期間

平成 27 年 7 月 12 日（日）から

平成 27 年 7 月 14 日（火）まで

#### 2 用務先

(1) 沖縄県 中頭郡 北中城村（きたなかぐすくそん）

(2) 沖縄県 中頭郡 嘉手納町（かでなちょう）

#### 3 用務

(1) 沖縄県 北中城村

・北中城村アワセ土地区画整理事業について

(2) 沖縄県 嘉手納町

・基地行政の取り組みについて

#### 4 概要 別紙のとおり

## (5) 概要説明

### (1) 北中城村アワセ土地区画整理事業について

アワセゴルフ場は戦後駐留軍用地として接収され、昭和 23 年米軍のゴルフ場として利用されていましたが、平成 8 年に日米で返還合意になり、平成 22 年 7 月に返還されました。平成 25 年 3 月に沖縄防衛局から地権者に土地の引き渡しがあり、土地区画整理事業として計画を作成しました。

この事業は、駐留軍用地跡地利用として「広域交流拠点」「村の新たなる顔となる拠点」としての新しい街を作るものです。

新しい街の形成のため 4 つの理念を設定しています。

- ① 公園・緑地の整備による環境の創造
- ② 医療施設・スポーツ施設による健康の増進
- ③ リゾートショッピングモールによる観光の振興
- ④ 病院・商業施設・スポーツ施設・LNG 設備による地域防災拠点

事業概要として

事業名	アワセ土地区画整理事業
施工者	北中城村アワセ土地区画整理組合
施工面積	約 47.9 h a
地権者数	380 名（共有者・相続人含む）

平成 27 年 7 月 14 日現在の状況

沖縄最大のショッピングセンター「イオンモール沖縄ライカム」4 月 25 日グランドオープンしており、医療施設として「中部徳州会病院」も鉄骨が立ち上がっています。さらにアリーナ施設・LNG 施設・分譲マンション住宅施設が計画されています。

### (2) 嘉手納町における基地行政の取り組みについて

嘉手納町は沖縄本島の中部に位置し、町の総面積は 15.04 平方キロですが、その 83% に相当する 12.48 平方キロが米軍基地（嘉手納飛行場・嘉手納弾薬庫地区・陸軍貯油施設）となっており、残りの 2.6 平方キロに約 14,000 人が暮らしています。

嘉手納飛行場に常駐する飛行機は F-15 イーグル戦闘機をはじめ 8 機種の部隊があり基地に飛来する機種も F/A-18D ホーネット戦闘攻撃機をはじめ 6 機種などが飛来している基地であることから騒音公害が市民を悩ませています。

平成 25 年度の騒音発生回数を見ますと一日平均 70.8 回年間で 25,842 回になります。このことから嘉手納町では防音工事がすべて終了しておりますが三沢市のように土地がないので集団移転にはなじまないとの説明がありました。

嘉手納町には「嘉手納町軍用地等地主会」が約 4,000 人、沖縄県では約 42,000 人

県全体で借地料が 900 億円、その経済効果が 1,947 億円になるそうです。

嘉手納町の地主の中で借地権の売買が投機目的になっている傾向が出ていることに危機感を表わしていました。

嘉手納町としては沖縄防衛局が平成 20 年に那覇市から移転してきた事が最大の利点であると思いました。

歴代の市長が沖縄県で最大の米軍滑走路を持ち、騒音被害の大きい嘉手納町に防衛局を移転させる事を要望していた事が成果となって平成 10 年 9 月に移転計画が正式決定し、平成 20 年嘉手納タウンセンターに移転された経緯は三沢市も大いに参考になると思います。

東北で一番大きな米軍基地が三沢市にあります。何も防衛局が仙台にある必要がありません。今回の研修で一番感じた事は「仙台防衛局」を移転させて「三沢防衛局」になることを要望行動にするべきだと心から思うものです。